

鉄砲洲神社詩吟 素読論語
(平成 26 年 11 月 7 日)

【一四】子 公叔文子を公明賈に問いて曰く、信なるか、夫子の言わず笑わず取らざることはと。公明賈 対えて曰く、以て告ぐる者の過てるなり。夫子は時ありて然る後に言う。人 其の言うことを厭わず。楽しみて然る後に笑う。人 其の笑うことを厭わず。義ありて然る後に取る。人 其の取ることを厭わずと。子曰く、其れ然り、豈其れ然らんやと。

孔子が、公叔文はどういう人物かと公明賈に聞いた。「本当かね、あの人の言わず、笑わず、取らざるということは」公明賈はそれに答えて、「言った人が間違えたのでしょうか。あの人はタイミングを見計らって言うべき時には言う。それを聞いている人達は気にしない。公叔文はタイミングを見て笑っているものだから、笑ったことに対して周りは気にもしない。受け取るべき理由があると思った時には、一時を置いてから受け取っている。その受け取ったことに対して周りの人は気にもしないし、また気がつかない場合が多い」と答えた。孔子が「そうか、しかし本当にそうだろうか」と、半信半疑で答えたということです。

公叔文子という人物について、なぜ孔子が気にしたのかはよく分かりません。公孫枝と言い、衛の国の大臣で、一説では大金持ちというし、また清貧の人物ということで極端な評価になっています。

今にあわせて見ますと、孔子が時の大臣で、安倍総理大臣について然るべき人間に尋ねたと考えれば、安倍首相は、言わず笑わず取らずという、話をすべきときには言うけれども、普段はほとんど口を利かないように見える。笑うべき時だなどいう時にも笑わないので、タイミングをみて笑っているのが気がつかない。報酬を受け取るべき時にも受け取らないとみえるけれど、タイミングを見て取っていく。

安倍首相はどうかというと、言わないでいい時にも言っていますし、良く笑っている時も笑っている、取っている時にも取っていると見えますから、口八丁手八丁にみえます。

今の時代にこういう人がいるかということ、言わず笑わず取らずという人物は、あまり聞いたことがない。見ざる言わざる聞かざるという人物はいるでしょうが、今の時代でみれば、言うべき時に言うのが良いと思うし、笑うべき時には笑うが良いと思う、取るべき時には取るのだと思います。

この時代、謙讓の美德を発揮したのかなと思います、良く分かりません。